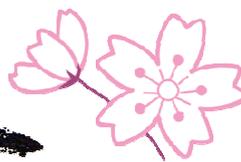




へんさんしつ



第156号

平成24年3月1日
小松市史編纂事務局
へんさんしつ便り

立春を過ぎた頃から日が長くなってきました。夕方でもまだ空が明るいと“春が近づいて来たなあ”と嬉しくなります。三月は別名“弥生”。その名が「木草弥や生ひ月（きくさいやおひづき）」“木や草がいよいよ生い茂る”という言葉に由来しているように、植物の生命力に満ち溢れた月です。また、春分の日は「自然を讃え、生命を慈しむ日」。行事も多く忙しい月ですが、ひと息ついて自然の中で深呼吸してみてもいいのではないでしょうか。きっと力強い“弥生パワー”が湧きあがってきますよ☀

年表

1118	平清盛、誕生
1156	保元の乱起こる
1159	平治の乱起こる 源頼朝、義朝、朝長、義平ら、東国に逃亡
1160	源頼朝、伊豆に配流される 平清盛、正三位となる 【仏御前、誕生】(~'80)
1167	平清盛、太政大臣となる
1176	【安元事件】(~'77)
1179	平清盛、後白河天皇を幽閉、 院政を停止する
1180	安徳天皇即位 源頼朝、伊豆で挙兵 源頼朝、富士川の戦いで平氏を破る 【源(木曾)義仲、信濃国で挙兵】 【仏御前、死去】
1181	平清盛、死去
1183	【倶利伽羅峠の戦い】 篠原の戦い
1184	源義仲、征夷大將軍となる 源範頼・義経との戦いで義仲、敗死
1185	壇ノ浦の戦い(平氏滅亡)

平安時代末期の小松 その二

前回ご紹介した【仏御前】、【安元事件】と今回ご紹介する【倶利伽羅峠の戦い】を代表的な年表に補足してみました。比較してみると、仏御前が出家し嵯峨野の庵を訪れたのが17歳(1177年頃)。よって安元事件が起きた時、まだ京都にいたこととなります。彼女は事件の騒ぎを知っていたのでしょうか。ちょうど時代が重なるので気になるどころですね❀

【倶利伽羅峠の戦い】《『源平盛衰記』に登場》

永寿2年5月11日(1183年6月2日)、越中・加賀国の国境にある砺波山の倶利伽羅峠(現在の富山県小矢部市一石川県河北郡津幡町)で起きた源義仲軍と平氏軍(総大将:平維盛)による合戦。

治承4年(1180年)に源義仲が平家追討のため挙兵、北陸方面に勢力を広げた。一方、平氏軍は永寿2年(1183年)4月、越前国で火打城の戦いに勝利したため義仲軍は越中国への撤退。同5月、加賀国から軍をすすめて越中に入っていた平氏軍は能登国と砺波山(越中・加賀の国境)の二手に分かれ、維盛は砺波山に陣を敷いた。義仲軍も砺波山に向かったのだが、その内の一隊を平氏軍の背後にまわらせた。平氏軍が寝静まった夜間、義仲軍は奇襲を仕掛けた。混乱した平氏軍は退却しようとする。しかし退路は阻まれ、唯一敵が攻めてこない方へ逃げようとするもその先は倶利伽羅峠の断崖。平氏軍は次々に転落し、軍の大半を失った。こうして平氏軍は大敗。平維盛は命からがら京へ逃げ帰った。この戦いの後、義仲は7月、ついに上洛を果たす。大軍を失った平家は応戦できず、安徳天皇を連れて京から西国に落ちのびた。

つづきは裏へ➡

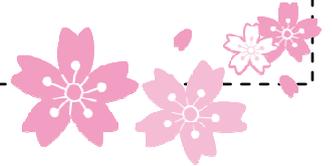
☞【前ページの続き】

ちなみに『源平盛衰記』では倶利伽羅峠での奇襲の時、義仲は数百頭の牛の角に松明をくくりつけて突撃させた
とあり、源平合戦の中でも有名な一場面になっている。(※この戦法が実際に行われたかは定かではない。)

◎石川県河北郡津幡町の道の駅[倶利伽羅 源平の郷]には「火牛の計」像が、富山県小矢部市石動地区では毎年
7月下旬に「源平火牛まつり」が行われ、舞台となった両県で現在に伝承されています。

倶利伽羅峠の戦い、壮絶ですね…！逃げた先が断崖とは、平氏軍の混乱が容易に想像できます。源氏は奇襲が
得意だったと言いますが頷ける話だなあ、と納得しました。今回の出来事は小松に直接関係ありませんが、この
インパクトの強い戦いが加賀国で起きたと思うと興味深いですよね。源平合戦が身近に感じられます。

次回は【篠原の戦い】をご紹介します予定です。永寿2年(1183)6月、加賀国篠原(現石川県加賀市旧篠原村地
区)で起きた戦い、倶利伽羅峠の戦いの直後のことです。



編纂事務局からのお知らせ

❖現在、第10巻「図説 こまつ歴史」までが発売中です。民俗編は聞き取り調査が進められています。

❖平成24年度の市史講座の予定は決定し次第お知らせします。

❖市史講座の資料、平成10年7月25日に開催された第1回「小松城・お城の様子」(講師：犬丸博雄氏)から
前回の第52回分まであります！ご興味のある方はぜひ図書館2階の市史編纂事務局までいらしてください☆

◎事務局では皆さんによりいっそう小松の歴史に親しんで頂けるよう工夫しています。今後は史料を閲覧できる
場を設けることなど考えています。ご要望がございましたらお気軽にお申しつけください。

<3月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ は小松市史事務局の休室日、□ は小松市立図書館の休館日です。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 / FAX 0761(22)9763
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・休室日 日曜日/月曜日/祝日の翌日

